

## 電事連会長 定例会見要旨

(2012年3月16日)

電事連会長の八木でございます。皆さまには、お忙しいなかお集まりいただき、ありがとうございます。

本日は、「東日本大震災から1年」を迎えた月の会見でありますので、この1年を振り返らせていただくとともに、「この冬の電力需要の実績」と「電事連役員人事」につきましてご報告させていただきます。

### 1. 東日本大震災から1年

未曾有の被害をもたらしました東日本大震災から1年という月日が経ちました。尊いお命を亡くされました方々のご冥福を心からお祈り申し上げますとともに、被災されました方々の一日も早い復興をお祈り申し上げます。

また、福島第一原子力発電所の事故により、福島県の皆さまをはじめ広く社会の皆さまに、大変なご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、改めて、同じ電気事業に携わる者として深くお詫び申し上げます。

この1年を振り返りますと、電気事業にとりまして、かつて経験をしたことのない「非常事態の連続」でありました。

特に、大震災では、東北地方・関東地方の太平洋岸を中心とした電力設備に、極めて甚大な被害を受けましたが、電力業界の総力を挙げて、資機材の支援、さらには、電力や燃料を融通した結果、何とか早期に復旧を遂げることができました。

しかしながら、今回の震災や事故の影響で、計画停電や使用制限をお願いせざるを得なかったこと、さらには、原子力の停止により、昨年夏に続いて、この冬も節電のお願いをさせていただいたことは、大変申し訳なく思っております。

節電にご協力いただきました、お一人お一人の皆さまに対して、改めて感謝申し上げます。

また、私どもは、同様の事故は二度と起こさないという固い決意のもと、電源や冷却機能などを多重化・多様化する緊急安全対策を徹底的に講じました。さらに、想定を超える事象に対しましても、安全余裕があることをストレステストにて定量的に評価しております。

今後も、さらなる安全対策を推進するための新組織を設立するとともに、継続的な設備・運用面での改善を徹底的に行い、世界トップレベルの安全性を追求してまいり所存であります。

大震災から 1 年が経過いたしました。電気事業ならびに原子力の信頼を回復するために、私どもが取り組むべき課題は山積しております。

何よりも、発電所周辺地域の除染や住民の方々の早期のご帰宅、燃料の取り出しや廃炉に向けた作業など、事態の収束に向けた取り組みを着実に進めていく必要があります。電気事業連合会といたしましても、電力各社から除染作業に専門家を派遣するなど、引き続き、現地への支援活動を行ってまいります。

また、電力需給につきましては、現在稼働中の原子力プラントは 2 基となるなど、極めて厳しい状況が続いております。原子力の再稼働が遅れば、今夏の需給バランスは大変厳しい状況になると見込まれ、国民生活や経済、産業に多大な影響を与えることも懸念されます。

今後は、供給力確保と需要面の取り組みに全力を尽くすとともに、安全確保に万全を期し、立地地域をはじめ広く社会の皆さまからの信頼回復に努め、できる限り早期に原子力を再稼働できるよう最大限努力してまいります。

また、現在、電気事業に関わる審議会において、「エネルギー政策」や「原

子力政策」、そして「電力システム改革」について様々な議論が行われております。

私どもといたしましては、お客さまや社会の皆さまの声を真摯に受け止めるとともに、「低廉で良質な電気を安定的にお届けする」という電気事業の基本的な使命を決して忘れることなく、一つひとつの課題への取り組みを着実に進めてまいります。

## 2. この冬の電力需要の実績

次に、この冬の電力需要の実績についてご報告させていただきます。[資料 1](#)をご覧ください。

この冬は、冬型の気圧配置が続き、寒気の影響を強く受け、平均気温は全国的に平年を下回りました。

こうしたなか、10社計の最大電力は、左上の表にありますように、2月2日に記録した1億5,519万kWと、前年と比べ約200万kW減少し、98.7%にとどまりました。

電力需要の詳しい分析は、各社ともこれからであります。当日の平均気温（10都市加重平均）が0.4と、この冬一番の寒さであったため、暖房需要が増加したにもかかわらず、最大電力が前年を下回ったのは、産業界やご家庭など多くの皆さまにご協力いただきました節電のおかげであると考えております。

現在、関西電力では来週23日まで10%以上の節電を、電力各社も経済活動や生活に支障のない範囲での節電をお願いしているところでありますが、皆さまのご協力により、この冬は何とか乗り切れるものととらえております。

一方、2月3日の早朝には、九州電力新大分発電所で約230万kWの発電

機が停止するトラブルが発生いたしました。関西電力をはじめとする電力 6 社は、大変厳しい需給状況となることを覚悟の上、当日の供給力から最大で合計約 210 万 kW を九州電力に応援融通を行い、安定供給を確保いたしました。

今後の需給バランスの見通しにつきましては、各社とも、現在とりまとめている最中ではありますが、こうした不測のトラブルによって、一瞬にして供給力が不足するリスクに対応するためにも、適正な予備力を確保しておくことは大変重要であります。

また、右下のグラフにございますが、この冬の 3 ヶ月間の燃料消費量を見ますと、自社の火力発電所による発電電力量が前年同期と比べて 40.5% も増加しております。また、この影響から、重原油の消費量は約 3 倍に、LNG は 34% も増加いたしました。

こうした火力燃料増加の影響で各社の収支状況は大幅に悪化しておりますが、今後のイラン情勢次第では、燃料価格のさらなる高騰を招くと同時に、エネルギー資源の大半を輸入するわが国にとって、調達量の確保にも影響が出てくる可能性もあるのではないかと考えております。

### 3 . 電事連役員人事

最後に、資料 2 にありますとおり、副会長の九州電力眞部社長が 4 月 1 日付けで社長を退任されますので、本日の総合政策委員会において、後任の副会長を四国電力の千葉社長にお願いすることを決議いたしました。その他の役員には変更ございません。

私からは以上です。

以 上

# 今冬（12月～2月）の電力需要の実績について

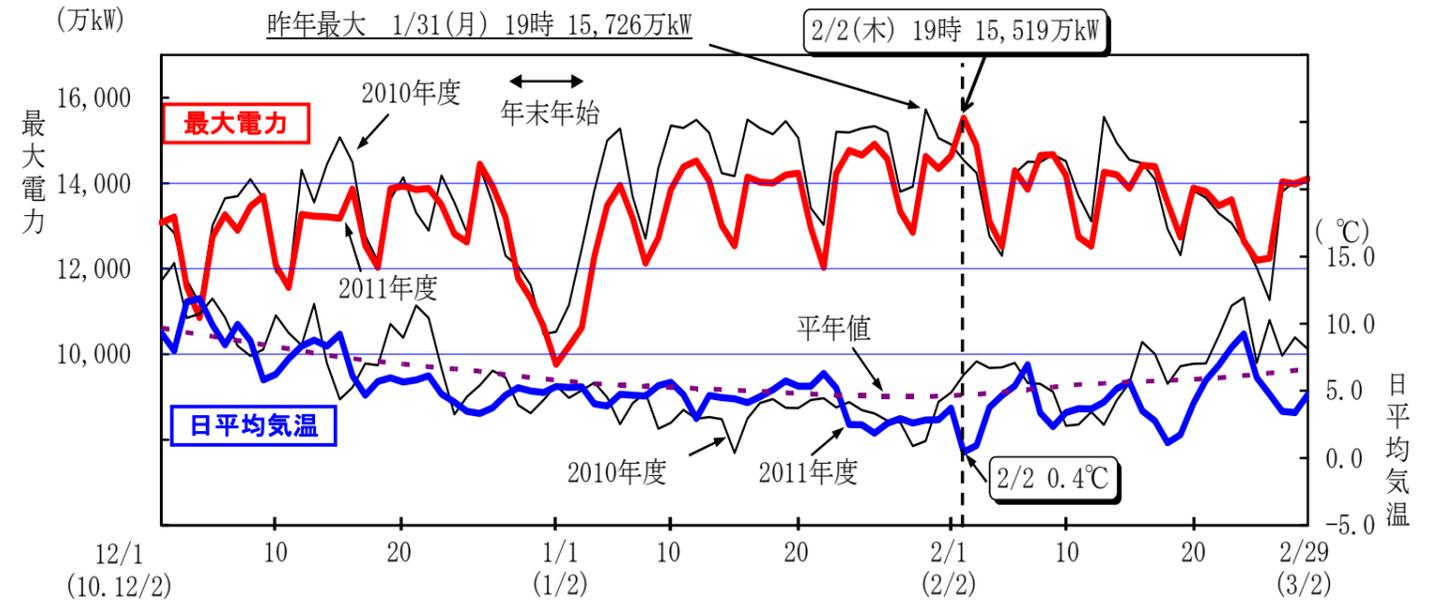
## 1. 今冬の各社電力需要実績（発電端）

(単位: 万kW, 万kWh, 百万kWh, %)

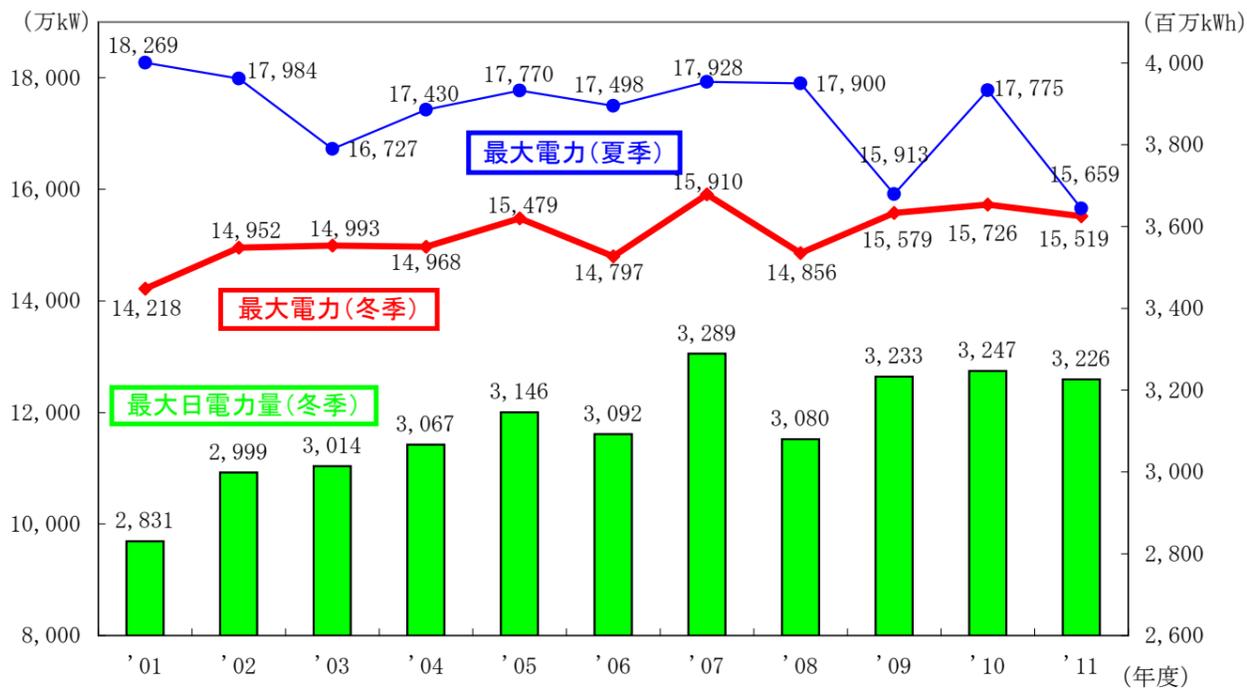
会社名	最大電力			日電力量			12月～2月累計発受電力量	
		発生日	前年比		発生日	前年比		前年比
北海道	568	2/2	98.2	12,783	1/12	98.6	10,757	103.9
東北	1,362	2/2	92.7	29,775	1/31	95.3	24,062	95.6
東京	4,966	1/20	96.4	101,337	1/20	98.4	80,905	97.7
中部	2,367	2/2	101.1	49,116	2/2	103.4	37,222	100.1
北陸	526	2/2	99.5	11,529	2/2	99.5	8,858	98.4
関西	2,578	2/2	96.7	53,154	2/2	98.8	41,693	97.3
中国	1,045	2/2	97.3	22,324	2/2	98.2	17,673	96.2
四国	☆① 522	2/2	100.4	10,799	2/2	99.7	8,404	97.5
九州	☆① 1,538	2/2	100.3	31,361	2/3	98.6	24,411	96.3
沖縄	108	1/25	94.7	2,155	2/3	96.4	1,838	98.6
<b>10社計</b>	<b>15,519</b>	<b>2/2</b>	<b>98.7</b>	<b>322,648</b>	<b>2/2</b>	<b>99.4</b>	<b>255,823</b>	<b>97.8</b>

注1) ☆は冬季記録更新, ○内は更新回数を示す  
 注2) 最大電力および日電力量は速報値  
 注3) 発受電電力量は12・1月確報値, 2月速報値  
 注4) 12～2月累計発受電電力量の前年比は、うるう補正後の値

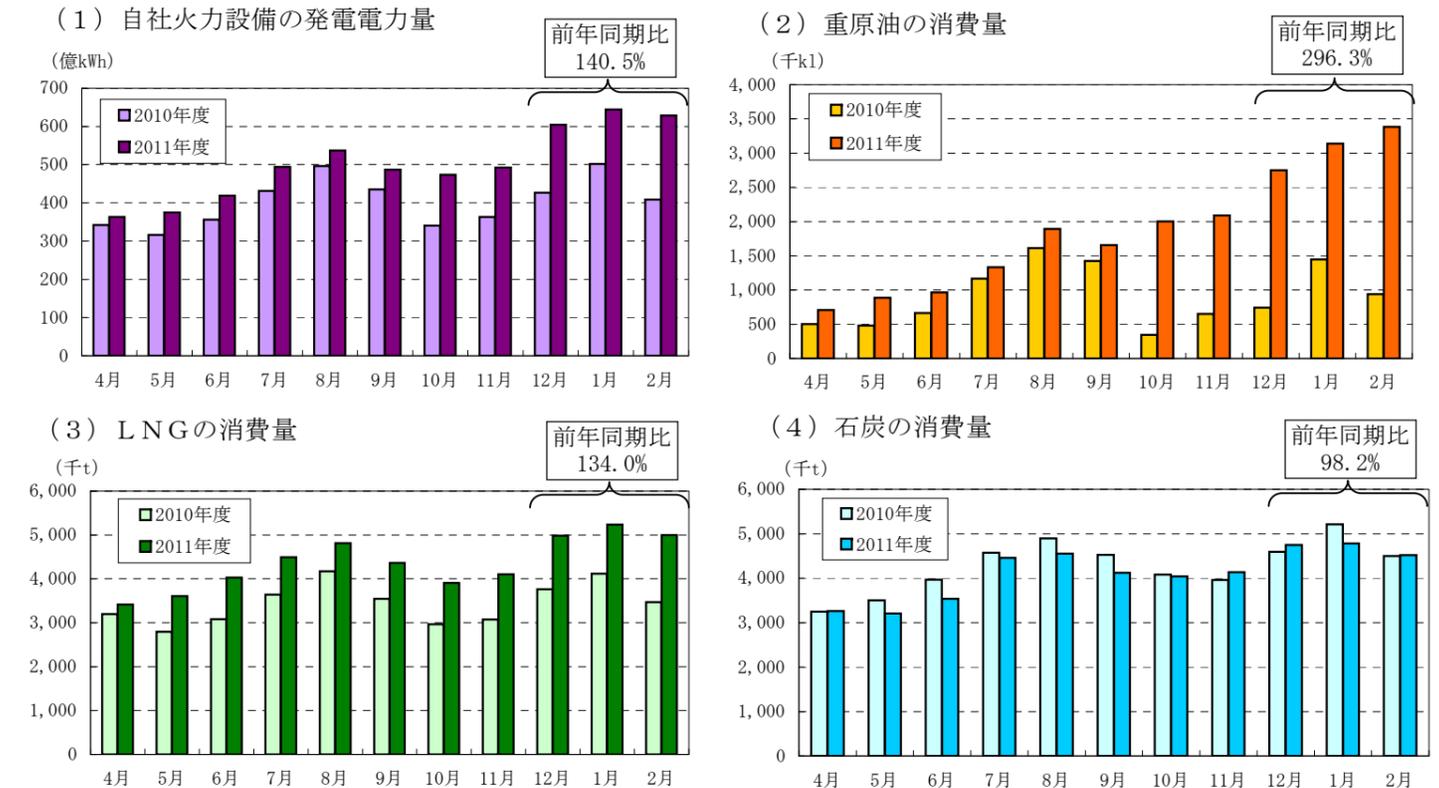
## 3. 10社最大電力と日平均気温の変化（10都市加重平均）



## 2. 10社最大電力と最大日電力量の推移



## 4. 火力燃料消費量の推移（速報）



## 電気事業連合会 役員人事

2012年3月16日  
電気事業連合会

電気事業連合会の役員人事について、本日の総合政策委員会において決議いたしましたのでお知らせいたします。

なお、眞部 利應 九州電力社長から千葉 昭 四国電力社長への副会長の交代は、4月1日を予定しております。

旧	新
副会長 <small>まなべ としお</small> 眞部 利應（九州電力社長） （4月1日付で九州電力取締役となる予定）	副会長 <small>ちば あきら</small> 千葉 昭（現 四国電力社長）

この他の役員については、変更ありません。

以上

（ご参考）

電気事業連合会の役員新体制（4月1日以降）

会 長	<small>やぎ</small> 八木	<small>まこと</small> 誠（関西電力社長）
副会長	<small>さとう</small> 佐藤	<small>よしたか</small> 佳孝（北海道電力社長）
	<small>ちば</small> 千葉	<small>あきら</small> 昭（四国電力社長）
	<small>きむら</small> 木村	<small>しげる</small> 滋（東京電力取締役）
専務理事 福島支援本部長	<small>くめ</small> 久米	<small>ゆうじ</small> 雄二（中部電力取締役）
理事 事務局長	<small>いなだ</small> 稲田	<small>ゆたか</small> 豊（関西電力取締役）
理事 事務局長代理	<small>てじま</small> 手島	<small>やすひろ</small> 康博（東京電力理事）
理事 原子燃料サイクル事業推進本部長	<small>たぬま</small> 田沼	<small>すすむ</small> 進（関西電力）
理事 地層処分推進本部長	<small>すぎやま</small> 杉山	<small>かずや</small> 一弥（東京電力）